

平成29年度 公共事業再評価調査

1. 再評価調査書

(区分) **国補**・県単

事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業 (国補)]		事業箇所	南アルプス市芦安芦倉～早川町奈良田	地区名	(主) 甲斐早川線 (早川芦安連絡道路)	事業主体	山梨県
	当初計画	現計画	今回見直し予定					
計画期間	H26年度～H31年度	—	H26年度～H38年度					
総事業費	8,000百万円	—	11,500百万円					
(1) 事業の概要								
①事業目的及び効果								
<p>早川町奈良田地区と南アルプス市芦安地区は、現在、主要地方道南アルプス公園線と県営南アルプス林道で繋がれているが、両路線とも厳しい地形で冬期の長時間の閉鎖（11月～6月）に加え土砂崩落等により度々通行止めが発生している。</p> <p>こうした状況の中、本路線は南アルプス地域の一年を通した観光を可能にし、また、災害時の早川町内における孤立集落の解消や緊急物資の輸送等、生活道路としての安全安心面においてもその整備効果が期待されている。</p>								
②事業概要								
<p>計画延長：L=4,980m W=5.5(7.0) m 道路幅員：車道5.5m（2車線）</p>								
③現計画の全体計画（今回の再評価で変更する前の内容）								
	平成28年度まで	平成29年度 (評価実施年度)	平成30年度以降					
工事内容	測量調査設計 詳細設計 用地補償 道路改良工 橋梁工 トンネル工	トンネル工	トンネル工 道路改良工					
事業費	3,800百万円	2,000百万円	2,200百万円					
④特記事項								
リニア建設工事の発生土を盛土材料として利用する。								
⑤再評価時等の評価状況								
<p>「平成26年度事前評価」 この事業は、早川町奈良田と南アルプス市芦安を結ぶ災害に強い道路を新たに整備するものである。本道路により冬期の往来も可能になり、早川町内の孤立集落の解消や南アルプス地域の一年を通した観光が期待されることから事業の必要性は高く、実施が妥当である。</p> <p>また、本工事によるトンネル掘削土やリニア建設工事による発生土を有効活用する点については評価できる。</p> <p>なお、南アルプス地域は平成26年6月にユネスコエコパークに登録されており、景観や自然環境の保全も重要であることから、環境への影響を十分調査し、計画や設計に適切に反映するよう努められたい。</p>								
(2) 評価項目 [事業を巡る社会経済情勢等の変化] (今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)								
①地域・住民の意向状況								
なし								
②産業・経済情勢								
国土交通大臣が、中央新幹線（品川・名古屋間）の工実施計画（その1）を認可（平成26年10月） リニア「南アルプストンネル」掘削着手（平成28年10月）								
③国等の方針変更								
なし								
④上位計画・関連事業計画等の変更								
「ダイナミックやまなし総合計画」（平成27年12月策定） 「山梨県強靱化計画」（平成27年12月策定） 「山梨県社会資本整備重点計画-第三次-」（平成27年12月策定）								
⑤自然環境条件等の変化								
南アルプスユネスコエコパーク登録（平成26年6月）								
⑥その他								
発生土の活用に関する基本協定締結（平成29年2月） 発生土の活用に関する施行協定締結（平成29年3月）								
(3) 評価項目 [再評価時点の費用対効果分析]								
<ul style="list-style-type: none"> 事業採択時計画における事業全体B/C（26年度） 便益（B）/費用（C）=1.5>1.0 再評価時計画における事業全体B/C（29年度） 便益（B）/費用（C）=1.2>1.0 <p>（山梨県費用便益分析マニュアルより算出 採択基準値1.0以上）</p>								

2. 再評価調書

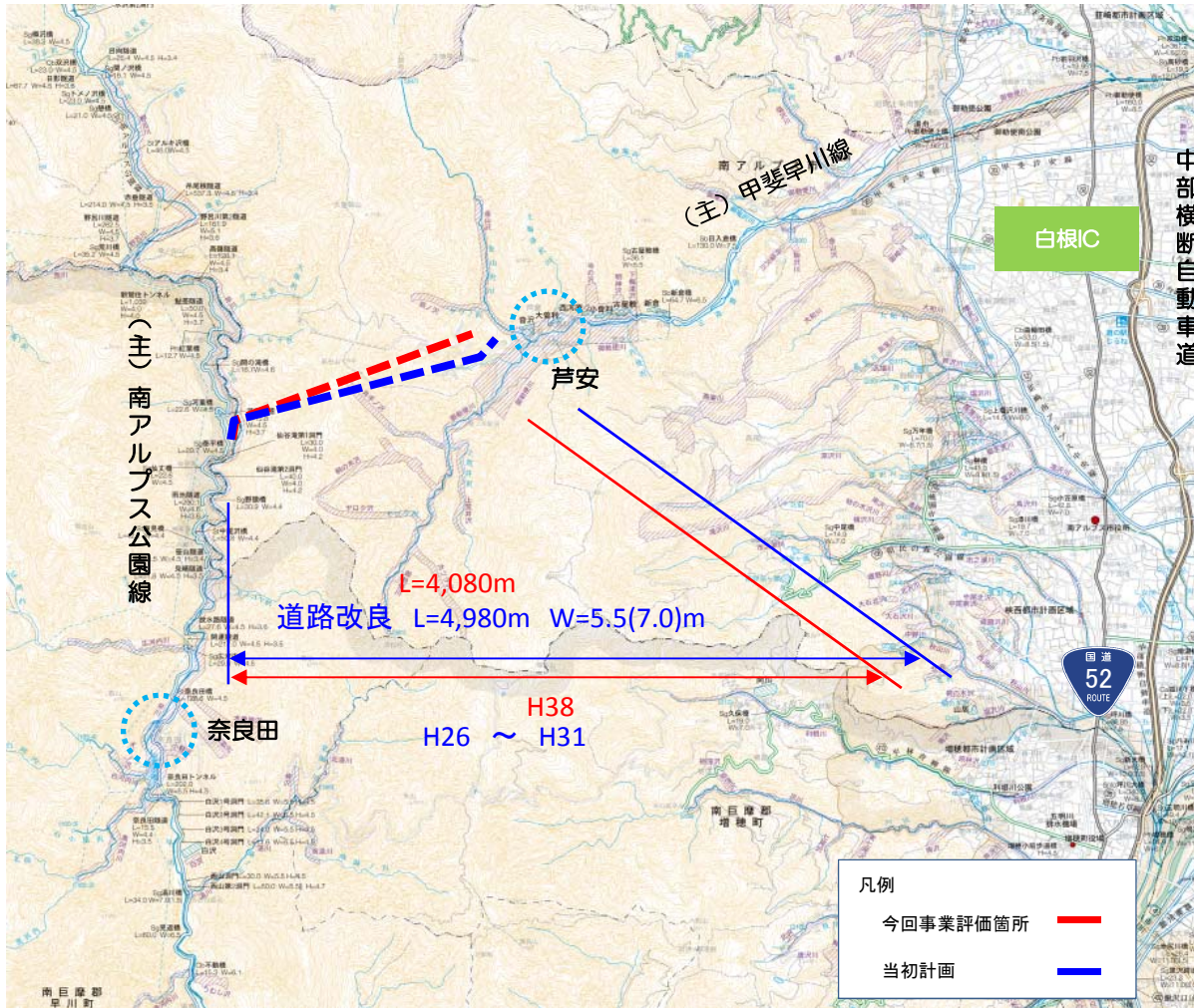
<p>(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]</p> <p>①これまでの計画変更等の概要 なし</p> <p>②施行済みの事業内容 ((1)) ③「全体計画」に記載した内容と比較</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width:10%;"></td> <td style="width:40%;">平成28年度まで</td> <td style="width:50%;">平成29年度 (評価実施年度)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">工事内容</td> <td style="text-align: center;">測量調査設計 道路予備設計</td> <td style="text-align: center;">測量調査設計 道路詳細設計 用地補償</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事業費</td> <td style="text-align: center;">312百万円</td> <td style="text-align: center;">100百万円</td> </tr> </table> <p>③進捗率 (現計画に対する実績)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width:10%;"></td> <td style="width:15%;">*平成26年度</td> <td style="width:15%;">平成27年度</td> <td style="width:15%;">平成28年度</td> <td style="width:15%;">*平成29年度</td> <td style="width:10%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計 画</td> <td style="text-align: center;">3.8</td> <td style="text-align: center;">22.5</td> <td style="text-align: center;">47.5</td> <td style="text-align: center;">72.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実 績</td> <td style="text-align: center;">0.9</td> <td style="text-align: center;">2.0</td> <td style="text-align: center;">3.9</td> <td style="text-align: center;">5.2</td> <td></td> </tr> </table> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width:10%;"></td> <td style="width:15%;"></td> <td style="width:15%;"></td> <td style="width:15%;"></td> <td style="width:15%;"></td> <td style="width:10%; text-align: center;">算出方法</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計 画</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">計画事業費/総事業費×100</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実 績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">実施事業費/総事業費×100</td> </tr> </table> <p>*事業着手年度又は再評価、再々評価実施年度 H29の実績は見込み</p> <p>④事業の進捗が順調でない理由 地質調査結果により、芦安側盛土計画区間は軟弱地盤により盛土構造が困難であることが判明し、ルート変更を含め道路構造の再検討に時間を要した。</p>		平成28年度まで	平成29年度 (評価実施年度)	工事内容	測量調査設計 道路予備設計	測量調査設計 道路詳細設計 用地補償	事業費	312百万円	100百万円		*平成26年度	平成27年度	平成28年度	*平成29年度		計 画	3.8	22.5	47.5	72.5		実 績	0.9	2.0	3.9	5.2							算出方法	計 画					計画事業費/総事業費×100	実 績					実施事業費/総事業費×100	<p>⑤今後の事業執行上の問題点 なし</p> <p>⑥今後の事業の進捗の見込み (計画期間について記載) ルート検討に不測の日数を要したこと、また、地質が悪くトンネル掘削に時間を要すことから、工期を7年間延長し、平成38年度の完成を目指す。</p> <p>⑦事業計画の変更の見込み・可能性 (総事業費について記載)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width:70%;">内容</td> <td style="width:30%;">事業費</td> </tr> <tr> <td>早川側橋梁・改良</td> <td>400百万円増</td> </tr> <tr> <td>トンネル</td> <td>3,200百万円増</td> </tr> <tr> <td>芦安側盛土・改良</td> <td>▲100百万円減</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,500百万円増</td> </tr> </table> <p>(5) 評価項目 [環境への配慮] 大規模な自然環境の改変がないようトンネル構造型式とし、切土等を必要最低限に抑えるなど環境への負荷をできるだけ抑えると共に、法面を緑化するなど自然景観に調和した計画とする。</p> <p>(6) 評価項目 [コスト縮減の可能性] なし</p> <p>(7) 評価項目 [代替案立案の可能性] なし</p> <p>(8) 所管部の今後の方針 継続・見直し継続 その他 () (理由) 早川町内の孤立集落の解消や南アルプス地域の一年を通じた観光が期待され事業の必要性は高いことから、事業期間を7年間延長、及び事業費を増額し、平成38年度の完成を目指す。</p>	内容	事業費	早川側橋梁・改良	400百万円増	トンネル	3,200百万円増	芦安側盛土・改良	▲100百万円減	合計	3,500百万円増
	平成28年度まで	平成29年度 (評価実施年度)																																																						
工事内容	測量調査設計 道路予備設計	測量調査設計 道路詳細設計 用地補償																																																						
事業費	312百万円	100百万円																																																						
	*平成26年度	平成27年度	平成28年度	*平成29年度																																																				
計 画	3.8	22.5	47.5	72.5																																																				
実 績	0.9	2.0	3.9	5.2																																																				
					算出方法																																																			
計 画					計画事業費/総事業費×100																																																			
実 績					実施事業費/総事業費×100																																																			
内容	事業費																																																							
早川側橋梁・改良	400百万円増																																																							
トンネル	3,200百万円増																																																							
芦安側盛土・改良	▲100百万円減																																																							
合計	3,500百万円増																																																							

3. 添付資料シート（1）

位置図

標準横断面

至 広河原

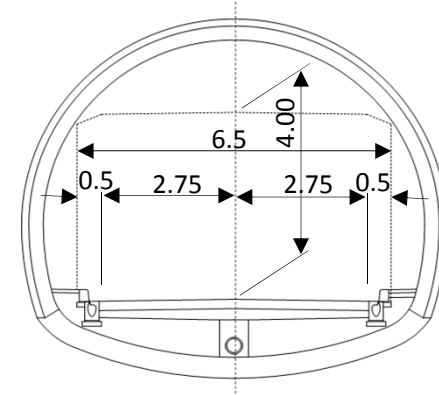


至 国道52号

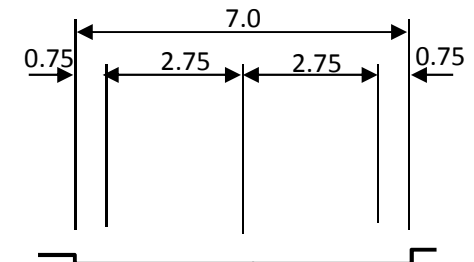
凡例

今回事業評価箇所	— (Red dashed line)
当初計画	— (Blue dashed line)

【トンネル部】

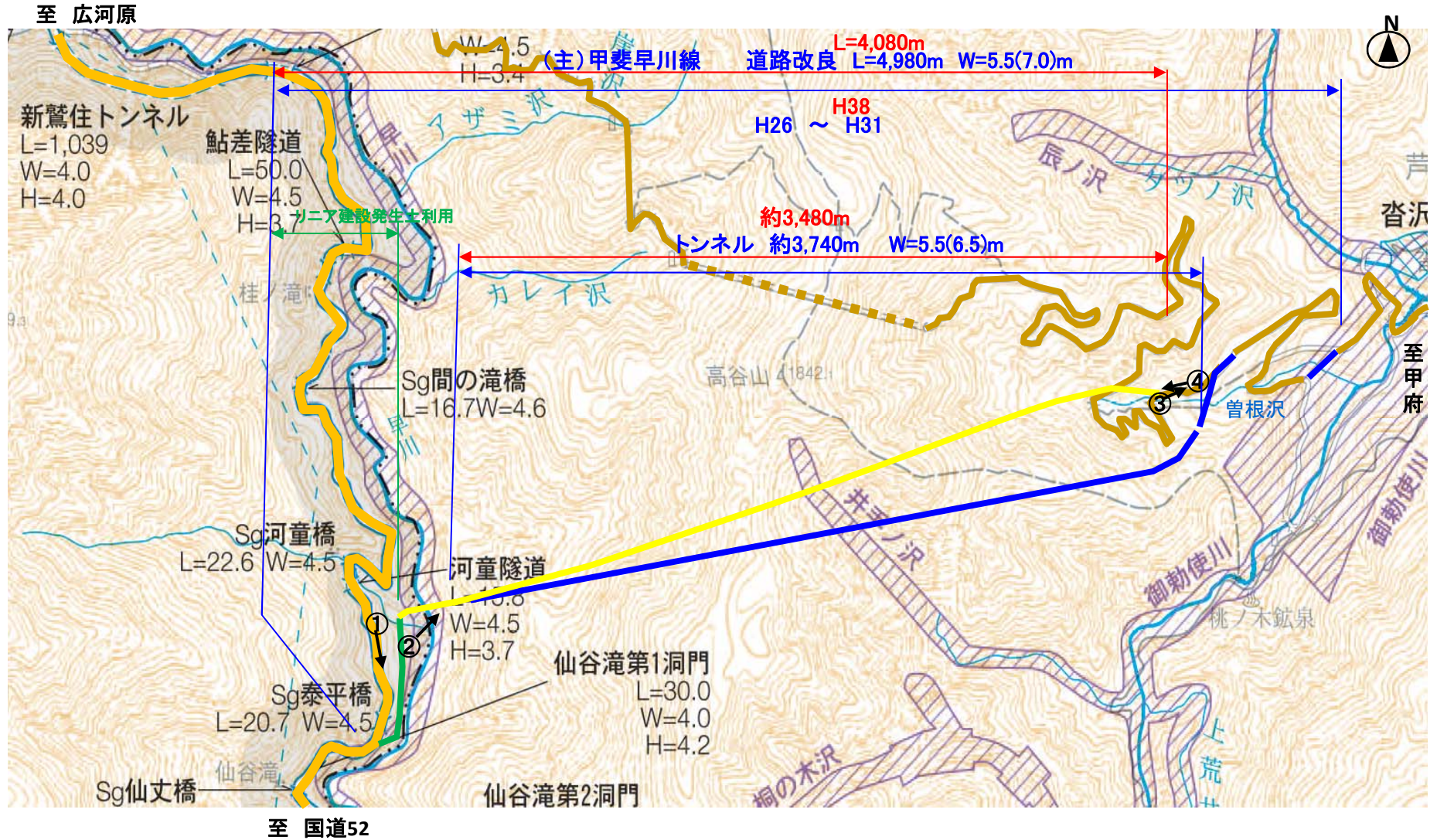


【一般部】



3. 添付資料シート(1)

平面図





①早川側 (主)南アルプス公園線付近



②早川側 早川～トンネル坑口付近



③芦安側 県営南アルプス林道付近



④芦安側 県営南アルプス林道～坑口付近

年度別事業費内訳表（今回変更後の内容）

年度	見直し後事業費（千円）	事業概要	進捗率
H26	70,000	道路予備設計 路線測量	0.6%
H27	89,000	道路予備設計 路線測量	1.4%
H28	153,000	道路詳細設計 路線測量 用地補償	2.7%
H29	100,000	道路詳細設計 路線測量 用地補償	3.6%
H30	100,000	道路改良工事	4.5%
H31	600,000	道路改良工事 橋梁工事	9.7%
H32	600,000	道路改良工事 橋梁工事	14.9%
H33	1,288,000	橋梁工事 トンネル工事	26.1%
H34	1,000,000	トンネル工事	34.8%
H35	1,000,000	トンネル工事	43.5%
H36	2,000,000	トンネル工事	60.9%
H37	2,500,000	トンネル工事	82.6%
H38	2,000,000	トンネル工事	100.0%
合計	11,500,000		